

## 北房こども園建設工事安全祈願祭 工事の安全を願って



工事の安全を願う関係者



木の温もりあふれる遊戯室(完成イメージ)



園庭も広くのびのびと遊べます(完成イメージ)

真庭市立中央図書館建設工事に伴い勝山文化センター内に移転した真庭市勝山振興局の開所式が、4月3日に行われました。振興局の玄関には勝山の町並みを彩るのれんが掛けられました。のれんは染織家の加納容子さんが手掛けたもので、サクラやコスモスといった四季折々の花がデザインされています。改築工事は平成28年10月中旬から進められ、年2月末に完成。3月21日から窓口業務を開始しています。



玄関には色鮮やかのれんが掛けられました

**真庭市勝山振興局開所式**  
**さらなる地域の発展を**

北房地域の幼稚園3園と保育園2園を統合して新設する「北房こども園」の建設地（下呂部地内）で3月30日に安全祈願祭が行われ、市の職員や工事関係者ら約60人が出席しました。神事では工事の安全を願い祝詞の奏上や関係者による地鎮の儀などが行われました。園舎は延べ床面積が約1700平方メートルで木造2階建て。使われる木材約800立方メートルのうち約720立方メートルには新材CLTが使用され、木の温もりあふれる園舎になります。工期は平成30年3月までで、同年4月に開園予定です。



委嘱状を受け取る真庭市地域おこし協力隊の新隊員3人

**真庭に新たな風を**  
**真庭市地域おこし協力隊 委嘱式**

市外から真庭に移り住んで活性化に取り組む「真庭市地域おこし協力隊」新たに3人が加わり、4月3日に委嘱式が行われました。委嘱されたのは岡山市出身の大森繁さん、東京都小金井市出身の寒川英さん、愛知県名古屋市出身の篠原洋さんです。任期は最大3年で、3人は約2ヶ月の研修期間中に真庭市や協力隊の取り組みについて学んだ後、市内各地域へ入って活動し、真庭市に新たな風を吹かせます。



市政に関する動きの一部を紹介します

### 3/24 大規模災害時に法律面で支援

真庭市と岡山弁護士会が大規模災害時の法律相談に関する協定を結びました。協定式では太田市長と岡山弁護士会の水田美由紀会長が協定書に署名し、被災者支援の充実を誓いました。



### 3/24 災害にドローンを活用

真庭市と市内2つの事業者は、災害発生時に小型無人航空機ドローンを活用する協定を結びました。災害で人が立ち入ることができない場所の状況をドローンを通じて確認し、捜査や復旧計画策定に役立てます。



## 市長室から こんにちは!

### 広域真庭の自然の魅力

はや5月、桜から新緑のまぶしい季節に移ろいつつあります、真庭の春と夏の自然の魅力について語ります。

春を代表する桜は、醍醐桜や岩井畠の大桜のような古木がある一方、久世のトンネル桜のような旭川や備中川沿いの桜、茅部神社のような社寺仏閣の桜、山々に点在する山桜など、それぞれの地域で自慢の桜が咲き誇ります。場所を変えれば、4月初めから下旬まで一ヶ月に渡って観桜できるのも真庭の魅力です。

夏と川の豊かさを象徴するホタルは、皆部付近の備中川が有名で日本一とも言われます。ほかに、備中川全域、関川、河内川、目木川、田羽根川など、市内各地にホタルの名所があり、光る数が増えていると嬉しい話を耳にします。それは河川環境の整備をする関係者のお蔭であります。

市民の皆さんのが季節ごとに市内各地にお出かけになり、こんな身近な所に素晴らしい魅力的な宝があることを発見、再認識されれば楽しいと思いますが、いかがでしょうか。

## 岡大「地域枠コース卒業医師」市長訪問 地域医療を支える



太田市長を訪問し意気込みを語った山本高史さん(右)

4月7日、岡山大学医学部の地域枠コースを卒業し、4月から市内の医療機関に着任した医師の山本高史さんが太田市長を訪問し地域医療の充実に向けた意気込みを話しました。この制度は中山間地域の医療提供体制の課題を解消するために、岡山大学と広島大学の医学部が平成21年に導入したもので、新たな医療の担い手を育成しています。山本さんは2年間内科医として勤務し、真庭市の地域医療を支えていきます。

## 認知症サポーター養成講座 銀行では初開催



認知症キャラバンメイトによる「通帳と印鑑がない」と題した寸劇

4月18日、中国銀行久世支店で、認知症キャラバンメイトが講師を務める「認知症サポートー養成講座」が開かれ、同行の行員21人が参加しました。キャラバンメイトは、認知症の人への正しい接し方などについて説明した後、通帳と印鑑が分からなくなつた認知症の人と銀行窓口での対応事例を寸劇で披露。質疑応答で参加者たちは何度も通帳の再発行を希望されるお客様に対してどう対応すべきかなど、熱心に質問をしていました。